



2007年11月12日

株式会社 角川グループホールディングス
代表取締役社長兼COO 本間 明生

「新日本様式」協議会の「新日本様式」100選に 劇場版アニメーション「時をかける少女」と 「角川俳句大歳時記 全五巻」が選定されました

「新日本様式」協議会が11月12日に発表した63点の「新日本様式100選」に、当社傘下の株式会社角川書店（代表取締役社長 井上伸一郎）が制作した、劇場版アニメーション「時をかける少女」と株式会社角川学芸出版（代表取締役社長 青木誠一郎）が編集・発行した「角川俳句大歳時記 全五巻」が選定されました。

世界に認められた日本のコンテンツである「アニメーション」と、伝統的な文化である俳句の創作に必要な「歳時記」が、ともに「新日本様式」100選に選ばれたことは、角川グループの幅広い活動が、表現方法の新旧を問わず評価いただいた、とても意義あることと感じております。

今後「新日本様式」評議会により、昨年選定された53点と合わせ、116点の選定商品・作品として、国内・海外に向けて積極的な情報発信が行われる予定です。より多くの方に劇場版アニメーション「時をかける少女」と「角川俳句大歳時記 全五巻」を認知・評価いただき、新たな日本ブランドの確立に寄与できることを期待しております。

○劇場版アニメーション「時をかける少女」

1965年の原作発表以来、幾度となく実写映像化されてきた「時をかける少女」（著：筒井康隆 角川文庫刊）初のアニメーション映画化作品。

アニメーション版はこれまでになく、アクティブで前向き。タイムリープ能力を持つ主人公が、日本の初夏の町並みを、文字通り駆け抜けていく爽快な青春映画です。

監督は劇場版「ONE PIECE THE MOVIE オマツリ男爵と秘密の島」を手がけた気鋭の監督、細田守。脚本は「学校の怪談」で日本アカデミー賞脚本賞を受賞した奥寺佐渡子。繊細で魅力的なキャラクターは、「新世紀エヴァンゲリオン」を手がけた貞本義行。「もののけ姫」「火垂るの墓」など、多くのスタジオジブリ作品の美術監督を務めた山本二三など、日本を代表するクリエイターが集結したことでも話題となりました。

第30回日本アカデミー賞・アニメーション作品賞最優秀賞はじめ映画賞多数受賞



○「角川俳句大歳時記 全五巻」

角川書店創立60周年記念出版。全五巻の見出し季語約5300語、芭蕉から現代までの名句約5万句収録。質量ともに現行歳時記をしのぐ本格歳時記。別冊付録として長谷川權氏による初心者のための俳句講座「実作への葉」を各巻に添付。

A5判 上製・箱入 「春」「夏」「秋」「冬」「新年」全五巻 各4200円(税込)

■リリースに関するお問い合わせ■

株式会社角川グループホールディングス IR・広報室 柿澤史行

TEL03-3238-8412 FAX03-3238-8465

ホームページ <http://www.kadokawa-hd.co.jp/index2.php>